

# 館長だより

山形県産業科学館

平成28年4月30日 第58号

発行 館長 大津 清

## 「のびーるスライムを作ろう」開催しました

去る平成28年4月24日(日)10:30~14:30に山形県産業科学館4階発明工房において、「みんなで楽しむスライム実験~のびーるスライムを作ろう~」が行われました。スライム時計も作りました。これは、「スライムの風」の主催によるものです。

同時に、SCITAセンター学生スタッフによる「全反射カードを作って遊ぼう!」も開催されました。

110名の参加者がありました。人気のあるイベントでした。

「みんなで楽しむスライム実験」は今年度4回行われ、次回は6月5日(日)にあります。ぜひ、ご参加ください。

主催者の皆さん、参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



## 「TOP入社式語録」を掲示しました

平成28年度の新たなスタートを切りました。希望と不安を抱きながら新しく社会に巣立った方々もたくさんいることと存じます。

そして、入社式でトップの言葉をお聞きしたことでしょう。若い皆さんにどんなことを訴えたのでしょうか。

このたび、館内に「TOP入社式語録」を掲示しました。

日刊工業新聞に掲載されたTOP入社式語録は山形県産業科学館3階の掲示板に、山形新聞に掲載された県内のトップの訓示を2階受付口の掲示板に掲示しました。

入社式におけるトップの言葉は素晴らしいです。初めて社会人になる皆さんは大きな財産をいただいたのではないのでしょうか。

新入社員だけでなく、多くの方々にも感動を与えます。胸の震える思いがします。ぜひ、TOP入社語録をご覧ください。



国内企業(3階掲示) 県内企業(2階掲示)

### ワークショップについて

山形県産業科学館では、展示やイベントの他にワークショップを行っています。

ワークショップは、科学への興味、関心を喚起することを目的に、身近にあるものを材料にした科学工作を毎回1,2種類準備して、どなたでも気軽に科学の面白さに触れていただける場を提供しています。

開催日 毎週 木・金・土(年間146回)

開催時間 【午前】10:30~12:00

【午後】13:00~14:30

**ワークショップ** ●時間 【午前】10:30~12:00 【午後】13:00~14:30  
●会場 産業科学館2F チャレンジコーナー

<b>手にのる小島</b> 5(木)・13(金) 19(木)・21(土)	<b>空気でつぼろ</b> 5(木)・12(木) 19(木)・26(木)	<b>フンファンこま</b> 6(金)・14(土) 20(金) 27(金)	<b>バタバタ</b> 6(金)・7(土)・14(土) 21(土) 27(土)
<b>四季の折り紙</b> 7(土) 20(金)	<b>ミニミニお絵かき</b> 12(木) 26(木) 28(土)	<b>牛乳パックで はがきをつくろう</b> 13(金)	<b>30大対決をつくろう</b> 28(土)

5月のワークショップ

## ・ひとというものは、ひとのために何かしてあげるためにうまれてきたの 宮澤賢治の母イチ

宮澤賢治(1896-1933)は、詩人・童話作家として有名ですが科学者でもありました。上の言葉は宮澤賢治の母が添い寝しながら、いつも母が語りかけていたといわれています。遺作「雨ニモマケズ」(1931年11月執筆)のように、賢治は人のために自分は何ができるのかと問い続けた生涯だったのではないかと思います。